
沼津情報・ビジネス専門学校のカリキュラムポリシー

沼津情報・ビジネス専門学校は、卒業認定および高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準をシラバスにより明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。さらに、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得できるよう、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

医療事務科のカリキュラムポリシー

医療事務科は、沼津情報・ビジネス専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「診療報酬請求」「患者対応力」「ICTスキル」の3つの柱となるスキル養成の授業科目を中心に、2年間で基礎から応用までを習得するため講義・演習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

1年次は、医療事務職員に必要な基礎知識を中心に学ぶ。医療機関との連携授業では、様々な専門職の業務内容や役割、他の医療事務職員との関わり方、チーム医療について理解を深め、さらに病院見学や業界研究を通して将来の働くイメージを膨らませ、職業理解へと繋げることを目標としている。

資格は、医療秘書技能検定3級、医事コンピュータ技能検定2級・3級、日本語ワープロ検定の取得を目標とし、2年次の「医師事務作業補助技能認定」の取得に向け基礎を固めます。

【2年次】

1年次に身に付けた基礎を応用へと発展させる。さらに、医療に伴う幅広いスキルを習得し、実践力とともに実務に役立つ多彩なスキルを磨くことを目指す。また、2週間の病院実習を経て医療現場を知り、学習と実務を結び付け理解を深めていく。2年間を通じて医学・医療関連の幅広い知識とスキル、医事システムを使いこなすパソコンスキル、患者対応時に必要となる接遇・マナー・コミュニケーション能力、チーム医療に欠かせない柔軟性などあらゆるスキルをバランス良く学習する。
